

平成30(2018)年度
事業計画書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年3月26日

公益財団法人日本ユースリーダー協会

《与件》平成30年度は、新3カ年計画(H28~H30年度)の最終年度。

新3カ年計画(H28~30年度 / 2016~2018年度)

- ★ 基本方針 ……◎ **アジアをフィールドに次代のユースリーダーを育成する(継続)**
- ① ASEAN諸国の交流ネットワーク(AJAF A-21)との連携がプラットフォーム
 - ② 日本の若者を対象に海外研修(GET)を実施(AJAF A-21との連携)
 - ③ ASEAN諸国や中国などからの研修受入と世代間交流

◆ 合言葉は

飛び出せ若者！！

- ★ 3年間の目標 .. (1) 500名の若者の、アジアでのリーダー体験を実践する。
「GET(240)」「さくら(100)」「JICA(80)」「植林交流(80)」
→ H28・H29実績: GET(94)・さくら(74)・JICA(0)・植林(0)
- (2) 600名の若者応援サポーターの輪を広げる。
「個人会員(300)」「学生・留学生(300)」
※ 資金援助(個人会員)と、若者ネットワーク(学生層)の両輪。
→ H28・29実績: 個人会員(120)・GET延べ参加者(260)
- ★ 事業計画 ……◎ 事業はすべて公益事業とし、3つの目的をもって構成する。

育成支援

(1) 明日のリーダーをアジアで育てる海外研修

- ① 「GET」(日本→ASEAN)
- ② 「JICA大学生(受託)」(日本→途上国) * H29休止
- ③ 「さくらサイエンスプラン」(アジア→日本)
- ④ 「植林交流」(日本⇄中国・アジア) * 不参加

(2) グローバル対応企業人のための国内研修

- ⑤ 「異業種交流研修会」(中堅幹部社員)
- ⑥ 「若手研修会」(30代までの若手社員)
- ⑦ 「親子体験学習」(小学生対象)
- ⑧ 「アジアの会(大阪)」(一般対象)

(3) その他支援(後援)事業

- ⑨ 「忘れない、3.11」(後援)

社会啓発

(4) 若者が挑戦できる社会づくりへ

- ⑩ 「表彰制度/若者力大賞」(継続)
- ⑪ 「若者力大賞過去受賞者講演会」 * 新規・H28~
- ⑫ 「広報活動」(H/P・SNS・広報誌)

ネットワーク

(5) ASEANを中心としたアジア圏との交流

- ⑬ 「AJAF A-21」(ASEAN10か国交流組織)
- ⑭ 「調査研究/若者市場調査」(ASEAN) * 未達

- ★ 組織体制 ……◎ 運営幹事会 = 実質審議を行う執行理事会議として毎月開催
◎ 事業委員会 = 担当理事による委員会執行体制での事業推進

- ★ 財政基盤 ……◎ 法人会員・個人会員の拡大 → 法人会員100社目標
* (H28)63社 (H29)64社
◎ 助成金・補助金事業の開拓 → 外務省・文科省・JICA・JSTほか
* (H28・H29)JSTのみ

Ⅱ. 平成30年度 事業計画

<基本方針>

1. 新3か年計画(H28-30)の最終年度であり、期初の計画に沿って事業を遂行し、その仕上げの1年とする。
2. 次年度(2019)が設立50周年を迎える年に当たる。
あらためてこれまでを振り返り、そのうえでこれからの果たすべき役割を検討して、50年目からの新たな協会活動のビジョンとアクションプランを考える1年とする。

I. 育成支援事業

◎事業収支予算: ▲2610千円(H29見込▲3387千円)

(1) 海外研修事業

◆事業収支予算: ▲2200千円(H29見込: ▲2940千円)

① 「グローバル・エデュケーション・ツアー (GET)」(短期海外研修)

◇事業収支予算: ▲3000千円(収入10200・支出13200)(H29見込: ▲3400千円)

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業を継続して実施。

AJAF A-21有効団体の現地協力体制の連携強化に取り組む。

あわせて中国などASEAN以外の派遣先の検討。

参加学生の集客力をより高める。特に地方自治体の開拓検討。

- (1) 研修実施……夏(8月):2コース・春(3月):1コース(60名)
- (2) 参加学生の集客力を高める。…同時に事前選考も要検討。
- (3) 現地協力体制…AJAF A友好団体との連携強化
- (4) プログラムの刷新…3つのミッションは継続
- (5) 安全管理対策…現地情報網の充実、危機発生時対応等
- (6) 卒業生の組織化検討…(例)留学生懇談会・さくらプラン学生交流等
- (7) 収支計画……参加費の増額(@149,800→@169,800)

② 「JST・さくらサイエンスプラン」(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)(補助)

◇事業収支: +800千円(収入10000・支出9200)(H29見込: +460千円)

H26年度よりスタートした「さくらサイエンスプラン」の補助金申請を行う。

30年度は、①「AJAF A加盟国」②「中国」③「ネパール」からの交流受入計画を立案。年間3回を計画。

- | | | |
|--------------|------------------------|--------|
| (1) 企画提案・補助金 | 申請2月→実施:10月(15名程度・1週間) | } いずれか |
| | 申請4月→実施:11月頃(" ") | |
| | 申請7月→実施:12月頃(" ") | |
| | 申請11月→実施:2月頃(" ") | |

(2) 国内研修事業

◆事業収支予算:▲310千円(H29見込:▲504千円)

③ 「異業種交流研修会」

◇事業収支予算:▲50千円(収入200・支出250)(H29見込:▲55千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会。
30年度は年間2回(5月・11月予定)の開催を実施。

④ 「若手研修会」

◇事業収支予算:▲50千円(収入100・支出150)(H29見通し:▲120千円)

「異業種交流研修会」の弟版。企業の20代～30代の若手社員を対象に、
異業種の集まりという利点を生かして、相互の会社見学や懇親を通して、
見て、学ぶ研修会。
30年度は年間2回(7月・1月予定)の開催を実施。

⑤ 「親子体験学習」

◇事業収支予算:▲10千円(収入40・支出50)(H29見込:▲22千円)

小中学生を対象にした親子で学ぶ体験学習。
主会場は新江の島水族館で、海の生き物たちとのふれあいや、水族館内の
バックヤード見学などを、親子(家族)が一緒になって体験する催し。
30年度も(10月予定)水族館の体験学習を計画。

⑥ 「アジアの会(大阪)」

◇事業収支予算:▲200千円(H29見込:▲307千円)

アジア圏の歴史、文化、そして現在の状況を学ぶ大阪地区での研修会。
通算50回を超す息の長い会合を継続して行う。
30年度も年間4回開催予定:5月・8月・11月・2月

(3) その他支援事業

◆事業収支予算:▲100千円(H29見込:▲0千円)

i 「後援活動／忘れない、3.11」(幸福(しあわせ)の黄色いバンダナの会)

できる範囲の継続的な被災地復興支援を活動趣旨に、明日への一步を
踏み出す意味で毎年3月12日に開催されている「忘れない、3.11」イベントに、
30年度も後援協力する。

ii 「友好団体支援活動」

そのほかに、友好団体が取り組む若者支援活動に対して、可能な範囲で
協力支援を行う。

(4) 若者が挑戦できる社会づくりへ

◆事業収支予算:▲3100千円(収入600・支出3700)(H29見込:▲3189千円)

⑦ 「第10回若者力大賞」 ◇事業収支予算:▲1600千円(収入600・支出2200)(H29見込:▲1733千円)

30年度も「若者力大賞」の選考と表彰を実施する。

第10回という節目で、新たな企画を検討する。

- (1)選考～審査プロセスの検討・・・応募規定・審査委員等の見直し
- (2)表彰式演出・・・第10回受賞者＋過去受賞者との共演等の新企画
- (3)支援スキームの検討・・・若者力大賞支援ファンド設立検討 など
- (4)協賛の検討・・・広告スポンサー・特別賞 など収支改善の検討
もしくはメディア・タイアップ(TV特番・雑誌特集 等)

・「第10回若者力大賞表彰式」・・・2019年2月予定

・「第3回若者力大賞(過去)受賞者講演会」・・・2019年12月予定

⑧ 「広報活動」

◇事業収支予算:▲1500千円(H29見込:▲1456千円)

年間の広報計画(スケジュール・発信内容等)を組み立て、各種の
広報ツールを効果的に活用して、発信力を高めていく。

i 「広報誌:YOUTH LEADER」の発行

◇事業収支予算:▲1500千円(H29見込:▲1456千円)

年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
英文PRツール(小リーフ)の作成。

・広報誌発行・・・2,000部(役員・会員・関係機関・協会活動参加者 等)

ii 「ホームページ」の随時コンテンツ更新

◇事業収支予算:▲0千円(H29見込:0千円)

協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信。
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る。
英文表記も検討する。

iii 「ソーシャルメディア」の活用

◇事業収支予算:0千円(H29見込:0千円)

Facebook、TwitterなどのSNSを使った情報発信を行ない、
データベースを活用したメールマガジンで、タイムリーかつ漏れのない
情報発信に取り組む。
同時に、情報の管理マニュアルを徹底する。

(5) ASEANを中心としたアジア圏との交流

◆事業収支予算: ▲700千円(収入0・支出700)(H29見込: ▲512千円)

⑨ 「AJAFA-21との交流促進」

◇事業収支予算: ▲600千円(H29見込: ▲512千円)

日本で研修を受けたASEAN諸国からの研修生の同窓会組織である「AJAFA-21」の存在意義・存在形態・運営機能の新しい形を検討する。
 ★(与件)ODA対象国が減少→JICA支援削減・・・11か国組織の維持方法
 (課題)JICA支援の復活(交流組織の再活用策)
 (1)事務局機能・・・バーチャルOfficeの設置・運営の検討
 (2)プレゼンスの再確認・・・意義・活動・資金 等の再確認・再構築
 (3)共同事業(活動)の可能性研究・・・フィジビリティ・スタディの実施
 ★ECMの参加・各ALMNIの来日アテンド

⑩ 「調査研究」(ASEANと日本の若者定点観測等→調査受託)

◇事業収支予算: 100千円(H29見込: 0千円)

AJAFA-21のネットワークをフル活用して、オリジナル視点での域内調査研究(ベンチマーク)計画(Opinion Panel)を検討する。
 そのためにも、まずはAJAFA・OBメンバーリストの作成に着手する。
 →行く行くはJICA研修生OBのリスト化(AI活用)を目指す。
 →同じ手法で、来日留学生OBのリスト化(AI活用)および活用策の研究。

平成30年度(2018) 事業委員会

◆主要事業は、別に定める委員会運営細則にもとづき、委員会を設置して実施する。
 平成30年度は、下記の委員会を設置する。

委員会名	内容	担当(理事・外部)	事務局
＜国際交流・研修＞ ◆委員長 阪本理事	①「AJAFA-21」との交流・連携	久世理事	新人
	②「GET」の企画・実施	村岡理事	金沢
	③「さくらプラン」申請・実施	笛吹理事	
	④「JICA研修生OBリスト化」企画検討	小室理事	
	⑤安全／危機管理		
＜国内研修＞ ◆委員長 小笠原理事	①異業種交流研修会	秀島理事 佐藤さん	林
	②若手研修会	倉田理事	
	③親子体験学習		
	④アジアの会		
＜若者力大賞実行＞ ◆委員長 池本さん	①「第10回若者力大賞」選考・表彰	野村理事 福嶋さん	加藤
	②「第3回受賞者講演会」企画・実施	家本理事 岡本さん	
	③「過去受賞者ネットワーク」の構築	佐藤理事	
	④「受賞者支援ファウンディング」検討	藤村理事	
＜NEXT50検討＞ ◆委員長 隈丸さん	①「NEXT50 ビジョン」の策定	家本理事 佐藤さん	金沢
	②「50年史」の企画検討	久世理事 池本さん	
	③「新体制・資金計画等」の検討	小室理事 倉田理事	

平成30年度(2018) 組織運営全般

組織運営全般

◎収支予算: +7070千円(H29見込: +5036千円)

◆内訳 □ ◇収入: 33940千円(会費32340・寄附金1500・雑収入100)
 ◇支出: 27530千円(人件費16120・事務所費3800・通信リース4000 等)

(1) 公式会議

- ① 「評議員会(5月)」「理事会(4月・5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」の開催
 - 「評議員会」・・・前年度事業・決算承認／役員選任／定款変更等
 - 「理事会」・・・前年度事業・決算承認／次年度事業・予算承認／規程変更等
 - 「運営幹事会」・・・運営全般管理／委員会活動／緊急事案の協議・決定等
- ◆委員: 理事長・副理事長・常務理事・各委員長・監事・事務局 ほか

(2) 会員管理

- ① 「会員(法人・個人)維持」・・・定期的コミュニケーション・研修への勧誘対策
 - ② 「会長サロン」継続開催・・・法人会員代表者の理解促進・協力依頼
- ◆会員硬直化→企画再検討

(3) 事務運営

- ① 「事務局(4名)」+「業務委嘱者(数名)」・・・人件費: 前年度微増程度に抑える
- ② 「法人会員(理事)」から委員会ワーキングスタッフの協力支援

(4) 50周年(2019.7)に向けて

- ① 「NEXT50委員会」・・・理事会諮問機関として2018.4～2019.3設置。

◆H30年度 総事業予算 (千円)

	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(Ⅰ-Ⅲ)	21,140	27,550	▲6,410
◆会費・運営費	33,940	27,530	6,410
合計	55,080	55,080	±0
◇H30年度	収支合計		±0千円